

1月15日(金曜日)「その父母を離れ」

【新改訳 2017】

創世記 2・24

「それゆえ男はその父母を離れ、妻と結び合い、ふたりは一体となるのである。」

このことばは、後にイエスさまにより次のように説明されています。「人は父と母を離れ、その妻と結ばれ、ふたりは一体となる」(マタイ 19・5)。ここには若者の自立と結婚のことが教えられています。若者にとってこの二つのこと、すなわち「自立」と「結婚」は強い関心となります。

日本では、この時期に「成人の日」という祝日があります。成人となられる方々には、心からお祝い申し上げます。

しかし、今日、人間が成長していく過程で最も画期的なお祝いであるはずの自立と結婚が、必ずしもうまくいっているとは言えないようです。子が親離れできないだけでなく、親も子離れができないために「成人」の祝福を自分のものにできずに、いろいろな問題が生じています(エペソ 5・22-33 参照)。この日こそ、親も子も神の創造の祝福から「成人」について考

えてもらいたいものです。

～祈り～

主よ。結婚の聖なる定めを感謝いたします。すべての人が、本当の結婚の祝福がわかりますように導いてください。特にキリスト者の結婚と家庭を祝福してください。

【学びのために】

幸いな結婚には条件があります。一時的な感情だけでは続きません。男女双方の人格的自立(成熟性)も重要です。祈りつつ備えることは、一人一人の責任であることを忘れてはなりません。